2016.5
Vol.110
TAKE FREE
ご自由に
お持ちください

SHONAN MAIL
しょうなんメール

理念
「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

Contents

2 - 3 P 救命救急センター
救急搬送からの
入院患者の動向

7 P トピックス
・中学校にて出張講演を行いました
・「静岡マラソン2016」で
当院医師が活躍！

4 – 6 P 職員紹介
2016年度研修医紹介

8 P 病院案内

神奈川県平塚市：バラ

医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

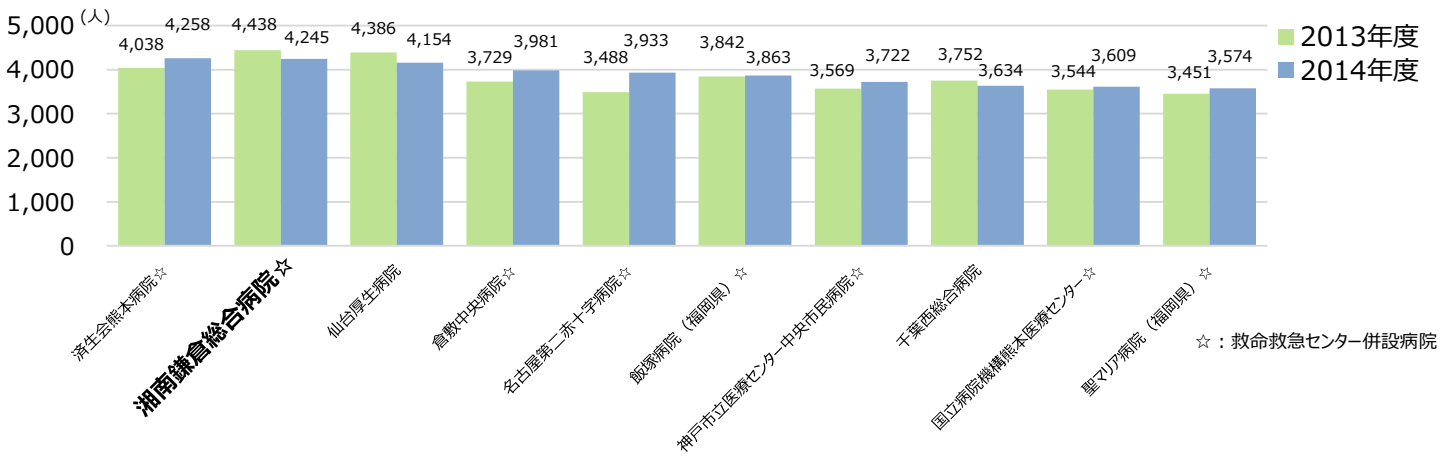
救急搬送からの入院患者の動向

前回のしょうなんメールvol.103号（2015年10月）では湘南鎌倉総合病院における救急入院患者さんに対する早期リハビリテーション実施状況について救命救急センター顧問福田充宏医師と、同センター長の大淵尚医師にコメントをいただきました。

今回はDPC（診断群分類）導入の影響評価に係る「退院患者調査」の報告から全国、神奈川県、二次医療圏内における当院救命救急センターへの救急搬送からの入院患者さんの動向についてお示しします。 ちなみに、当院における2014年度の救急搬送は12,275件で、うち4,590名が入院され、入院率は約40%となっています。以下に示す患者数は、「退院患者調査」において分析対象外（DPC非該当症例など）とされた人数が除かれています。

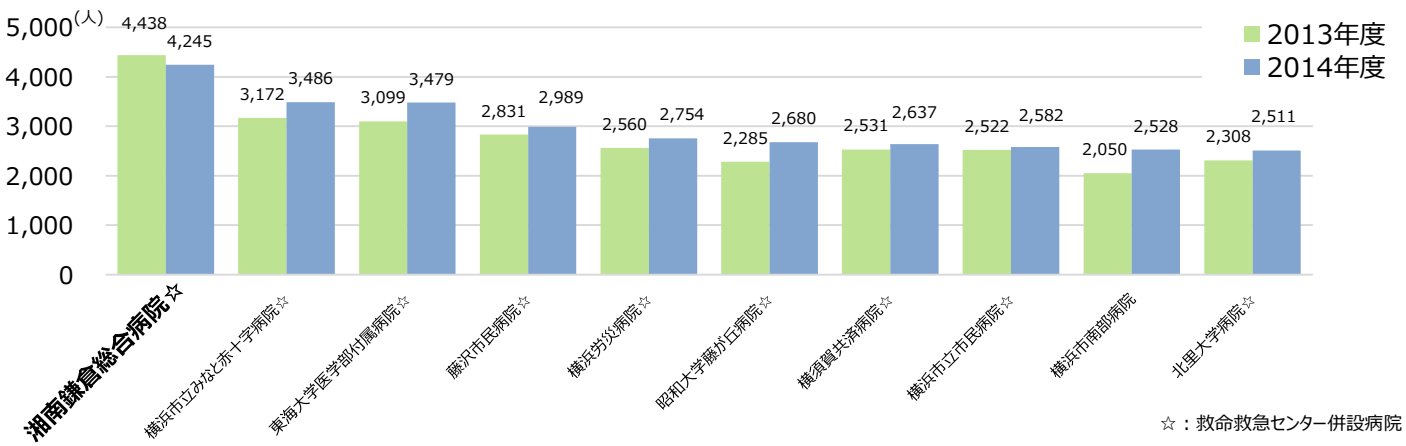
下記の図は厚生労働省 中央社会保険医療協議会（ＤＰＣ評価分科会）ホームページ（http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html）からの資料を加工して作成しました。

1 全国上位10病院の救急搬送入院患者数



上図は、全国の病院のなかで2013年度および2014年度の各一年間に救急搬送からの入院患者数が多かった上位10施設を示したものです。当院は、2013年度は全国で最も救急搬送からの入院患者数が多かった病院でしたが、2014年度は2番目でした。上位10施設のうちで救命救急センターを併設していないのは、仙台厚生病院と千葉西総合病院の2施設だけであり、上位に位置している施設は救命救急センターを併設した総合病院であることがわかります。

2 県内上位10病院の救急搬送入院患者数

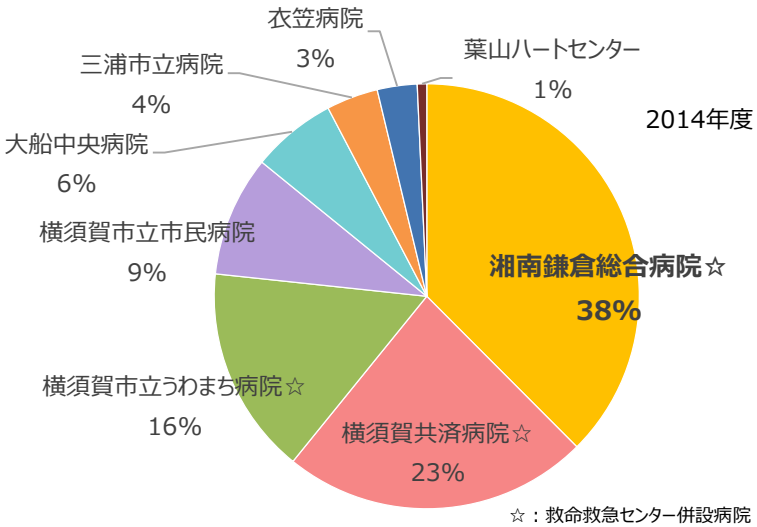


上図は、神奈川県内における2013年度および2014年度の各一年間に救急搬送からの入院患者数が多かった上位10施設を示したものです。当院は、県内では最も多く救急搬送からの入院患者さんを受け入れており、次いで横浜市立みなと赤十字病院、東海大学医学部付属病院と続いています。上位10施設のうちで救命救急センターを併設していない病院は、横浜市南部病院だけで、他の9施設は救命救急センター併設病院でした。

3 二次医療圏における救急搬送入院患者の病院別割合

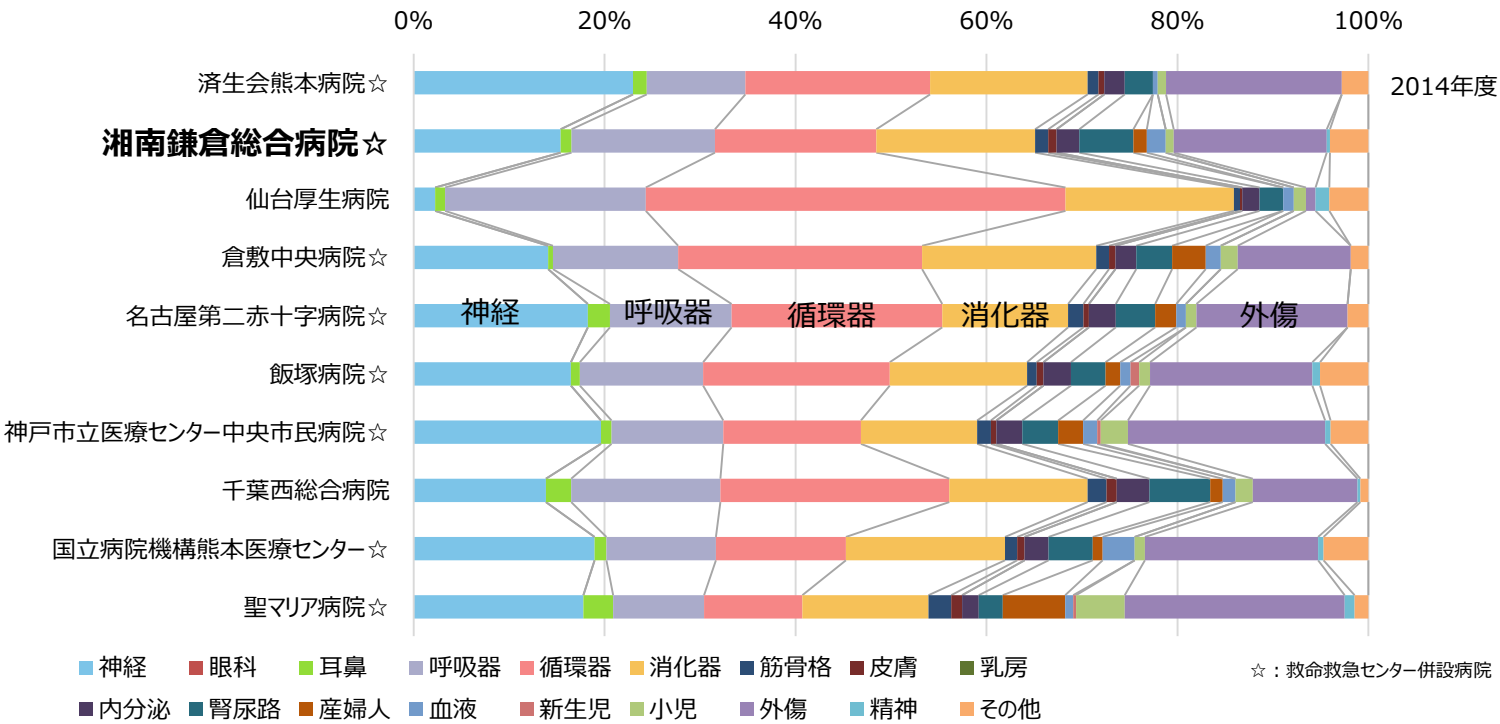
右図は2014年度の横須賀・三浦二次医療圏内における救急搬送からの入院患者さんの病院別割合を示したものです。当院は、二次医療圏内における救急搬送からの入院患者さんの約40%を担っています。この数字は、当院がこの地域における救命救急センターとしての役割を十分に果たしていることを示しています。上位3施設は救命救急センター併設病院であり、全体の約80%を占めています。

当院が救急搬送からの入院患者数が多い理由は、「救急患者を断らない」という当院の運営方針の下、全ての救急患者さんを受け入れているからです。



☆：救命救急センター併設病院

4 救急搬送入院患者の主要診断群別構成比率



☆：救命救急センター併設病院

上図は救急搬送からの入院患者さんの主要診断群別構成比率を示したものです。前述したように上位10施設のうち8施設は救命救急センター併設の総合病院ですので、構成比率には大きな差は見られず、救命救急センターとして求められている代表的な救急患者さんを受け入れていることがわかります。代表的な救急疾患としては、神経系では脳梗塞、脳出血等、呼吸器系では肺炎等、循環器系では心筋梗塞、心不全等、消化器系では消化管出血等、外傷では各部位の臓器損傷や骨折等があげられます。救命救急センターを併設していない仙台厚生病院は循環器系の構成比率が高く、外傷の比率が低くなっています。一方、千葉西総合病院は当院と同じ徳洲会グループの病院ですので、幅広く救急搬送を受け入れており、救命救急センターを併設している施設と同じような構成比率となっています。

以上、今回は、当院における救急搬送からの入院患者と主要診断群別構成比率について、全国、神奈川県、二次医療圏内での位置づけをお示ししました。

今後も、当院では「救急患者を断らない」という運営方針の下、あらゆる救急患者さんを受け入れて、この地域における救命救急センターとしての責務を果たしていきたいと思います。そのため、より充実した体制作りに、職員一丸となって努力してまいります。

2016年度 研修医紹介

基本プログラム

石堂 博敬（いしどう ひろたか）

（金沢大学出身）

金沢大学出身の石堂博敬と申します。患者さんや病院のスタッフの皆様の力になれるよう何事にも全力で取り組みます。どうぞよろしくお願い致します。

伊藤 優太（いとう ゆうた）

（東北大学出身）

こんにちは！東北大学出身の伊藤優太と申します。わからないことばかりですが、少しでもみなさんのお役に立てるよう頑張ります！

小野 亮平（おの りょうへい）

（千葉大学出身）

千葉大学出身の小野亮平と申します。日々笑顔で、そして全力で皆様と接していけたらなと思います。よろしくお願いします。

河上 哲朗（かわかみ てつろう）

（昭和大学出身）

初めまして！千葉生れ東京育ちの河上哲朗です。趣味は登山とラグビーです。地域の皆さんと過ごす一分一秒が糧となると考え、精進していきます。

酒井 希天（さかい きてん）

（北里大学出身）

初めまして。北里大学出身の酒井希天と申します。鎌倉で生まれ、この病院にはとてもお世話になりました。少しでも恩返しできるよう精励していきます。

佐々木 弥生（ささき やよい）

（島根大学出身）

はじめまして。島根大学出身の佐々木弥生と申します。当然のことではありますが、何事にも一生懸命に取り組んでまいります。よろしくお願いします。

下元 雄太郎（しももと ゆうたろう）

（杏林大学出身）

はじめまして。杏林大学出身の下元雄太郎と申します。医療に対する姿勢を身に刻むため、日々全力で取り組んで参りますので宜しくお願い致します。

滝沢 良哉（たきざわ りょうや）

（山形大学出身）

はじめまして。山形大学出身の滝沢良哉と申します。卒業したばかりで未熟者ですが皆様の足を引っ張らないように一生懸命頑張ります！

湘南鎌倉総合病院は、平成８年より厚生労働省の臨床研修指定病院の認可を受け、研修医の育成に力を入れている病院です。産婦人科・小児科プログラムと基本プログラムを合わせ22名もの初期研修医が入職し、日々医師として研修を受けております。

研修医たちは５年もすると多くの事が出来る立派な医師になり、地域医療の中核を担う事になります。当院での研修は、全国的にも厳しい環境での研修と言われています。“断らない医療で始まり断らない医療で終わる”ということを体で覚える大事な時期を過ごしています。受診された患者さんが少しでも満足して頂けるよう日々研鑽しています。地域の中核病院であり続けることを心に刻み込むべく、例年以上にはりきっている研修医達です。どうぞ宜しくお願い致します。

研修委員会
委員長　荻野秀光

＜臨床研修の理念＞

徳洲会の理念に基づき、地域社会に根付いた救急医療の要望に応える医療人、高度先進医療に対応できる医療人、世界で活躍できる医療人、安心して最善の医療を提供できる医療人、医師である前に人であることを理解できる医療人を組織的に育成する。

田中　雄大（たなか　ゆうだい）

（日本大学出身）

今年から湘南鎌倉総合病院でお世話になります。日本大学出身の田中雄大です。まだまだ未熟ですが良き臨床医を目指して一日一日頑張っていきたいです。

角田　駿（つのだ　しゅん）

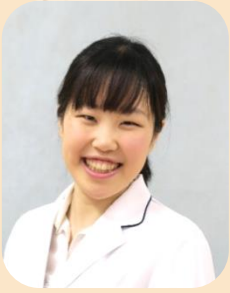
（聖マリアンナ医科大学出身）

はじめまして。聖マリアンナ医科大学出身の角田駿と申します。患者さんに寄り添う医師を目指して、全力で取り組みます。よろしくお願いします。

名嘉　祐貴（なか　ゆうき）

（大阪市立大学出身）

はじめまして。名嘉祐貴と申します。大阪生まれ大阪育ちですが、鎌倉の方々のお力になれるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



長山　未来（ながやま　みき）

（埼玉医科大学出身）

初期研修医1年目の長山未来です。大学卒業したばかりの未熟者ですが、精一杯努力していきたいと思いますので御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。

西野　敬祥（にしの　たかし）

（秋田大学出身）

この度、初期研修をさせて頂くこととなりました秋田大学出身の西野敬祥と申します。至らぬ点も多いと思いますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

野間口　侑基（のまぐち　ゆうき）

（九州大学出身）

はじめまして。九州大学出身の研修医１年目、野間口侑基と申します。タフで優しい医師を目指して頑張ろうと思います。どうぞよろしくお願い致します。

＜基本指針＞

湘南鎌倉総合病院の研修の目標は、自分自身が良い臨床医になることだけでなく将来若い人達を育てられる良い指導医になることである。

良い臨床医とは、患者さんに対してempathy（共感）を持ち、全人的に診断ができ、的確な診断治療を行える医師のことである。この目標が達成できるように研修体制には右記のような工夫がなされている。

1.医療に集中できる
2.チーム医療の研修ができる
3.Primary care、Emergency careの研修、各専門診療の研修が充実している
4.必須に加え、選択ローテーションができる
5.離島僻地医療を体験することができる
6.屋根瓦（がわら）方式の研修ができる
7.学会活動ができる

橋本 啓太（はしもと　けいた）

（滋賀医科大学出身）

初めまして。橋本と申します。学生時代から好きだった鎌倉で働かせていただけることになりとても楽しみです。どうぞよろしくお願い致します。

羽田野 博葵（はだの　ひろき）

（名古屋市立大学出身）

名古屋市立大学出身の羽田野博葵です。学生時代はサッカーをしていました。早く湘南鎌倉の皆様のお役にたてるよう頑張ります。よろしくお願いします。

平光 一貴（ひらみつ　かずき）

（名古屋市立大学出身）

はじめまして、名古屋市立大学出身の平光一貴と申します。常に笑顔で一生懸命がんばっていきますので、よろしくお願いします。

松本 愛世（まつもと　まなよ）

（長崎大学出身）

長崎大学出身の松本愛世と申します。未熟者ですが、少しでも患者さんのお役に立てるよう、精進してまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

宮内 亮輔（みやうち　りょうすけ）

（ロス大学出身）

ロス大学卒の宮内です。これから2年間、みっちり日本の医療を勉強させていただきたいと思っています。よろしくお願い致します！

山口 修央（やまぐち　のぶお）

（杏林大学出身）

こんにちは。本年度より研修医として働かせていただく、山口ノブオと申します。まだまだ未熟者ですが、誠心誠意接しますので、よろしくお願い致します。

産婦人科キャリアパス支援型プログラム

渋谷 茉里（しぶや　まり）

（札幌医科大学出身）

はじめまして。札幌医科大学出身の渋谷茉里と申します。先生方のような立派な医師になれるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いします！

小児科キャリアパス支援型プログラム

富田 晃史（とみた　あきふみ）

（旭川医科大学出身）

前職があり、10年遅れで入職した富田です。歳を重ねた分顔もお腹も丸くなりましたが、今後は個性も顔もとんがった部分を作っていきたいと思います。

出張講演

中学校にて出張講演を行いました

▲救命救急センター　関根 一朗 医師

3月4日金曜日に鎌倉市立大船中学校で卒業を間近に控えた3年生約170名を対象に、「薬物乱用の防止とけがの応急処置」について出張講演を行いました。同講演では救命救急センターの関根 一朗医師が講師を務め、薬物乱用の恐ろしさやたばこによる健康被害、身近でよくおこる傷の処置の仕方や鼻血の止め方などの応急処置について、生徒たちに問いかけながら説明を行いました。

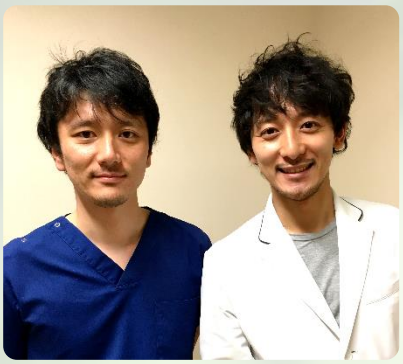
参加した生徒からは「薬物の恐ろしさを再認識できた」、「もしもの時に使える応急処置を知ることができた」などの感想が寄せられました。

▲実際に応急処置を学ぶ生徒たち

▲講演の様子

「静岡マラソン2016」で当院医師が活躍！！

～医師2名が人命救助～


▲伊藤 亮治医師（左）
関根 一朗医師（右）

今年３月６日日曜日、静岡市内で徳川家康公顕彰400年記念の「静岡マラソン2016」（旧・静岡駿府マラソン）が開催されました。この大会は今年で３回目を迎え、1万320人がフルマラソンに挑戦。当院の救命救急センターの関根　一朗医師と、総合内科の伊藤 亮治医師も参加していました。

▲救護所の様子（静岡徳洲会病院 山之上院長：左から3人目 と看護師８人が待機）

トラブルはスタートから7kmを過ぎたあたりで、参加者の30歳代の女性が突然倒れ、その10m程後ろを走っていた関根医師と伊藤医師が対応。倒れた女性の脈は触れず、心肺停止の判断で胸骨圧迫を開始。同時に周囲の参加者へ、頚椎保護と救急要請、さらにAED（自動体外式除細動器）の依頼。AEDの使用と、胸骨圧迫を継続し、到着した救急隊へ状況と蘇生処置の概要を申送りました。女性は救急車の収容時に意識を回復されたとのことです。

この大会では毎年、静岡徳洲会病院が救護所のひとつを担当しており、今年は山之上弘樹院長と看護師8名が待機し、大会救護本部には相澤信行総長が参加していました。「医師なら当然の行為かもしれませんが、患者さんの命を救い、静岡マラソンも救ってくれたと、関係者から大変感謝されました」と相澤総長はコメント。救助を行った関根医師と伊藤医師は、来年の静岡マラソンに特別招待されることになりました。

医療法人
沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　神奈川県鎌倉市岡本1370-1
代表：Tel 0467-46-1717(代表)　Fax：0467-45-0190
(直通) 健康管理センター：0467-44-1454　人工膝関節センター：0467-46-7172
しょうなんメール編集・発行：湘南鎌倉総合病院　年報広報誌委員会
ホームページアドレス:　http://www.shonankamakura.or.jp

ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表か、ホームページをご覧ください。また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

Access Map

湘南鎌倉総合病院　検索　クリック！

湘南鎌倉総合病院ホームページ

駐車場利用について

24h Times

湘南鎌倉総合病院駐車場

	外来患者	一般・面会
料金体系	最初 2時間 200円 以降 1時間 100円	1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

	地上	地下
営業時間	0:00～24:00	7:00～21:00
台数	28台	179台

コーナン鎌倉モール
1時間　200円　当日最大1000円　お買い上げで180分無料

公共交通機関でお越しの方へ

大船駅より来院される方

大船

●大船駅西口（大船観音側）

1番乗場　公会堂前下車
- 神・船31　渡内経由　「慈眼寺」行
- 船32　渡内経由　「藤沢駅北口」行
- 神・船101　城廻中村経由「大船駅西口」行
- 船102　公会堂前経由「城廻中村」行

2番乗場　南岡本下車
- 神・船34　公園前経由　「南岡本」行

●大船駅東口交通広場ターミナル
（湘南モノレール駅下バスターミナル）

2番乗場　南岡本下車
- 江・藤沢[弥]大船　四季の杜・武田薬品前経由　「藤沢駅（北口）」行
- 江・南岡本経由　「四季の杜」行

藤沢駅より来院される方

藤沢

●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

4番乗場　公会堂前下車
- 神・船32　渡内経由　「大船駅西口」行

9番乗場　南岡本下車
- 江・藤沢[弥]大船　武田薬品前経由　「大船駅」行

●藤沢駅南口（小田急デパート側）

8番乗場　湘南鎌倉総合病院下車
- 江・5301　アズビル前・武田薬品前経由　「湘南鎌倉総合病院」行

関連施設

●葉山ハートセンター
神奈川県三浦郡葉山町
下山口1898-1
TEL　046-875-1717

●湘南厚木病院
神奈川県厚木市温水118-1
TEL　046-223-3636

●湘南鎌倉人工関節センター
神奈川県鎌倉市台5-4-17
TEL　0467-47-2377

●湘南葉山デイケアクリニック
神奈川県三浦郡葉山町
一色1746-2
TEL　046-876-3811

●湘南かまくらクリニック
神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL 0467-43-1717

●大和青洲病院
神奈川県大和市
中央林間4-25-17
TEL　046-272-9300

●湘南鎌倉バースクリニック
神奈川県鎌倉市山崎1090-5
TEL　0467-45-4103
（2016年5月から）

●介護老人保健施設　ゆめが丘
神奈川県横浜市泉区
和泉町1202
TEL　045-800-1717

●介護老人保健施設　かまくら
神奈川県鎌倉市上町屋750
TEL　0467-42-1717

●介護老人保健施設
リハビリケア湘南かまくら
神奈川県鎌倉市山崎1202-1
TEL　0467-41-1616

●介護老人保健施設
リハビリケア湘南厚木
神奈川県厚木市戸田2446-15
TEL　046-230-5111

●特別養護老人ホーム
かまくら愛の郷
神奈川県鎌倉市岡本1022-32
TEL　0467-41-1122

●特別養護老人ホーム
逗子杜の郷
神奈川県逗子市沼間1-23-1
TEL　046-870-6800